

新生「さくらグループ」

さくらだより

vol.40

2024年4月19日発行

たかはし かずよし
代表取締役 **高橋 和義**



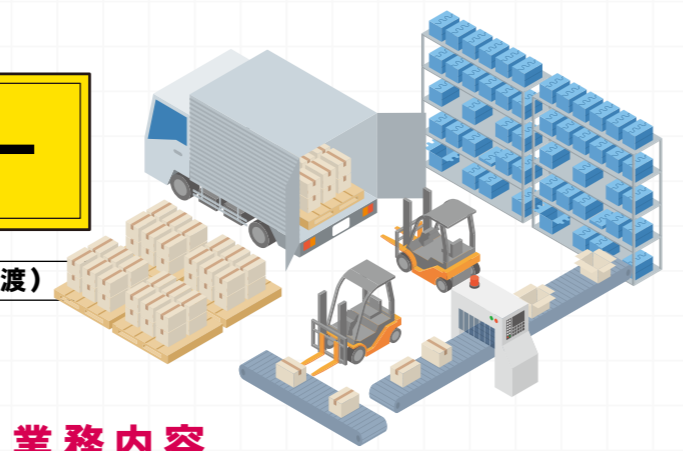
～3社で歩む未来～

さくらはこれまで着実に実績を残してきましたが、単体でできることには限りがありました。これからは、新たに仲間入りしたユニーと三和鋼産との相乗効果で事業を拡大していきます！高橋社長自ら、ユニーとのM&Aの経緯や今後の展望を中心に語っていただきました。2025年に着工予定の半導体製造工場の工事に対するお考えにも注目です。



ユニー

M&A決定日(株式譲渡)
2023年12月8日



業務内容

コンベアの設計から工事まで

さくらではできないコンベアの設計・製作・現場工事のノウハウを持つ企業です。主に、浄水場や下水処理場の工事で実績を残してきました。近年の売り上げは2億円弱で、従業員は10名ほど。宮城県栗原市に、当社よりも大きな工場を備えています。いずれはここで、さくらの製作品の加工もしていきたいと考えています。

今後の方向性

受注先を共有し県内を中心にシェア拡大を目指す

2024年3月現在は、まだ社長同士、現場の職人同士のみでの関わりにとどまっています。今後少しずつ、私の方からユニーの皆さんとコミュニケーションを図り、マインドを共有していきたいと思っています。業務面では、グループとして、ユニーのお客様からの仕事も含め、県内のシェアを拡大することが目標です。2025年には、宮城県で半導体工場の着工が決まっており、その周辺にも一次産業、二次産業の工場も建つはずですが、ここに参入できるかどうか、地域の工事業者のターニングポイントになるでしょう。さくらグループも、従来のように北海道から沖縄までカバーしつつ、県内のシェア獲得に力を入れていきたいと思っています。

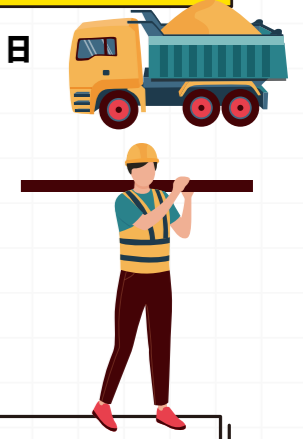


三和鋼産

設立日 2023年7月3日

業務内容

「鋼産」という名称の通り、鉄骨工事や鍛冶工事をメインとするび職です。普段はさくらの社員たちも、以前から「あそこの職人たちはよく動くな」と、一目置いていました。



M&Aの経緯

人員面・事業内容面で要望がマッチ

さくらでは、事業拡大を目指して、配管を主としたプラントなどの工事ができる企業を探していました。そうした中で、ユニーとのご縁に恵まれました。60代の社長が率いる35年の実績のある企業ですが、後継者不在ということでM&A先を求めているそうです。社長と面談したところ、「職人の数がもう少しいれば売り上げが伸びるはず」と仰っていました。その点さくらは、人数を揃えやすい。事業内容的にも人員的にも互いの要望がマッチし、M&Aが決まりました。ちなみに、さくら以外にも数社上場企業などが手を挙げていましたが、事業内容の親和性や将来性を考え、さくらを選んでくださったようです。

今後の展望

現場レベルでも3社の従業員の融合を進めたい

皆さんにとっては少なからず戸惑いもあったようですが、徐々にさくらグループへの理解も深まってきたのではないのでしょうか。もちろん現場レベルでも、積極的に3社の従業員の融合を進めていきたいと思っています。もともとのさくら関係の業務は専務、常務、部長陣に任せ、今後はユニーと三和鋼産をメインに管理していきたいと思っています。

設立理由

スキルの高い職人が揃う集団

もともとさくらの協力業者で、5年くらいの付き合いがありました。あるとき社長の佐藤さんから「今のままには限界があると感じている。高橋社長たちとタッグを組んで今後仕事をしていきたい」と、思いの丈を語っていただきました。私もさくらの職人たちも、皆さんの仕事ぶりは認めていましたし、元請けとの太いパイプもお持ちだったので、一緒にやっという決意。あえてさくらとは独立した企業として置き、互いの仕事をフォローし合うスタイルを目指しています。

元気の源! 私の家族を紹介します

家族のためなら、つらくても疲れていても頑張れる!
家族の存在は私たちに力を与えてくれる、まさに元気の源!
そんな家族に感謝を込めて、吉田さんがメッセージを贈ります。



冷熱部 係長

よしだ なるひと
吉田 成人さん

ご家族紹介

奥様 久美子さん

頻りにLINEをくれて、「お酒を飲みすぎないように」など、体のことを気にかけてくれて感謝しています。

長女 瑠美さん

鼻屑目に見なくても美人だと思います。現在、関東圏に住んでいるため、出張の際には一緒にご飯を食べに行くこともあります。



家族で外食

長男 誠也さん

私が仕事で家を空けているため、母親が心配で地元に残って家を守っています。母親思いの優しい息子です。おかげで私は安心して仕事に取り組むことができます。

家族との過ごし方

のんびりまったりが基本

毎年、お盆とお正月など、家には年に2回ほど帰ります。2024年のお正月は娘も帰省しましたが、休暇期間も短かったため、家でゴロゴロしながらのんびりと過ごしました。特別な場所に遊びに行くということもなく、買い物など、それぞれが行きたいところに私が運転して連れて行きました。我が家は女性が強い家系であるため、ほぼ妻と長女主導で行く場所は決まります。以前に盛岡でジブリ展が開催された際には、みんなで見に行きました。男の子は成人になると家族と行動しなくなりますが、息子は一緒に来てくれるため、家族の仲は良いのではないのでしょうか。

感謝を感じたエピソード

何気ない日常に、大きな感謝を

家族にはいつも感謝しています。帰れば至れり尽くせりで、帰る時間に合わせてお風呂が沸いており、お風呂から出たときには晩酌とおつまみが準備されています。ご飯も食べたいタイミングで今日はカレー、明日はからあげ、明後日は魚と、リクエストしたものが美味しい状態で出てきます。お米はいつも炊きたてです。そのため、家に帰ると必ず2~3kgは太ります。出張先ではろくなものを食べていないため、仕事に戻ると体重も戻って、プラスマイナスゼロですが(笑)小さなことかもしれませんが、そのような日常に幸せを感じています。



息子と一緒に

To 吉田家のみんな

家を空けてばかりで色々とお便な思いをかけていると思いますが、いつも笑顔で迎えてくれて感謝しています。だらしない夫であり父親ですが、体を大事に、みんなが仲良くしてください。これからもよろしくお祈りします。

ご意見
拝聴!

あったらいいな この制度

「あれば便利」「やる気が出る」「働きやすくなる」など、社員の皆さんの声を大募集!
皆さんのアイデアで、会社をよりよくしていきましょう!

A
さん

あったらいいなと思う制度

慰安旅行

観光地を巡るようなものではなく、3~4日のリラックスを目的とした温泉旅行です。当社にはない制度のため、あればいいなと思います。



慰安旅行を選んだ理由

社内では他部署の方に会う機会がなく、同じ部署の方しか接点がないのです。顔を知らない人も多く、外で会ってもわからないでしょう。そこで、慰安旅行を通じて様々な人とコミュニケーションを取り、親睦を深めることができればと思います。また、体をしっかりと休め、リラックスしながらゆったりとした時間を過ごしたいと考えています。

あってよかったと思うこと

年次有給休暇制度

他社では取得できなかったり、取得できても休みたいと言い出せない雰囲気があったりという話も聞きますが、当社はしっかりと休めます。むしろ会社が「きちんと消化してください」という姿勢です。3~4日連続でも取れるため、リフレッシュにもなりますし、平日しかできない用事があるときも利用でき、大変ありがたいと思っています。

B
さん

あったらいいなと思う制度

社員食堂



社員食堂を選んだ理由

基本的に毎日お弁当を持参しますが、面倒に感じています(笑)自分で作っていますが、サラダやおにぎりだけのときもあります。前職が保育園で、毎日提供される給食に慣れてしまったのかもしれませんが、子どもと同じものを食べるため、栄養バランスを考えた内容で、ハロウィンなど楽しい季節のメニューも出ました。当社に社員食堂があれば、大変楽になると思います。奥様やご家族に作ってもらっている方も、作り手の手間が省けるのではないのでしょうか。

あってよかった
と思うこと

好きなときにコーヒーなどが飲めて水分補給ができること、行きたいときにトイレに行けることです。前職ではお子様をお預かりするという性質上、自由にそのようなことができなかったため、本当にありがたく感じています。また、年に1回しっかりと健康診断を受けられるところもよいと思います。